

(石川会長の挨拶)

## 地方創生の中での中活を再認識

本日は、当協議会構成員の皆様方には、お盆前の何かと御多用中のところ、総会に御出席を賜り、誠に有り難う御座います。

また、日頃より当協議会へのご理解とご協力をいただいている事に対しまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

さて、中心市街地活性化事業を官民ともに集中的に取り組んで参りましたところの『十和田市中心市街地活性化基本計画』も、今年3月をもって終了したところであります。

その結果、「概ね活性化は図られた」という反面、「買い物環境等に不満」を感じている人もまだまだ多いようでございます。

しかしながら、今まで中心市街地活性化に関わってきました方々には、まずは心から敬意を表するところであります。

また、基本計画が終了した今、本来であれば当協議会もその役目を終え、「組織の解散」ということも視野に入れるべきところではございますが、前回1月の総会において、「アンケートや協議会の意見を踏まえた上で、法定の2期計画になるのか、任意の市独自の計画になるのかは別として、次の基本計画の策定を視野に入れ、関係各位との連携・協力のもと具体的な活性化事業の掘り起こし作業に取り組んでいきたい」とする市の方針を支持し、協議会の運営を継続していくことといたしました。

国では今、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、地方創生により活力ある日本社会の維持と地方からの日本創生を目指しております。十和田市もまた、平成27年度を「地方創生の元年」と位置づけ、将来に渡って持続可能な地域を目指し、十和田市まち・ひと・しごと創生「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定と地域創生に向けた取組を推進しております。

当面は、このような中での中心市街地活性化のあり方や方向性を再認識していくとともに、市ご当局にも情報提供いただきながら、今後について皆さまにご協議とご理解をいただく場として、この協議会を運営して参りたいと思っております。構成員の皆様には、毎回ご足労をお掛けいたしますが、今後のご協力をお願い申し上げます。本日はご出席をいただき誠に有り難うございます。

